

資源地質学会投稿規定(2017年12月改訂)

1. 総 則

1.1 資源地質への投稿は、この規定の定めるところにより行われる。学会賞(技術賞)論文および講演原稿も、執筆要領に関してはこの規定の適用をうける。

1.2 投稿原稿の種類

投稿原稿は次の9種類に分けられる。

- A. 論説・報告: 資源地質およびそれに関係のある諸科学の研究論文および調査・実験などの結果の記載。
- B. 速報: 資源地質学およびそれに関係のある諸科学に関する新しい成果で、速報性を重んじる短い報告。
- C. 討論: 「資源地質」に掲載された論説・速報・資料に対する学術上の討論。
- D. 解説: 資源地質学およびそれに関係のある諸科学の研究または調査結果についての総括的な記事。
- E. 資料: 資源地質学およびそれに関係のある諸科学の発展に貢献する資料。
- F. 資源情報: 国内外の鉱物・エネルギー資源および資源探査について最近の動向の紹介。
- G. 随筆: 資源地質学およびそれに関係のある諸科学に関する随筆。
- H. 書評・抄録: 資源地質学およびそれに関係のある諸科学に関する単行本・論文などの紹介・批評あるいは抄録。
- I. ニュース・雑録: 資源地質に関する上記以外の短報。

1.3 投稿の手続

- 1. 投稿者は、指定された形式の電子ファイル(本文、図表)を電子メールにより提出する。また別途保証書(様式1)に必要な署名をして提出する。
- 2. 投稿原稿の提出先は下記とする。
〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 4 階 資源地質学会 編集委員会
(電話: 03-3475-5287, ファックス: 03-3475-0824, e-mail: srg@kt.rim.or.jp)
- 3. 電子メールによる提出。
 - a. 本文は Word で作成し、Word または PDF で提出する。
 - b. 図を PDF, GIF, JPG, TIF のいずれかのファイルで提出する。
 - c. 表は Word または Excel で作成し、Word または Excel または PDF で提出する。
- 4. 郵送等の送付方法による投稿
郵送等の送付方法による投稿を希望する場合は、原稿のコピー及び保証書を上記あてに

送る。原稿送付と同時に電子メールで原稿種類、タイトル、著者名、投稿者連絡先を編集委員会へ通知する。

5. 受理された最終原稿は、以下の指定ファイル形式で電子メール添付または CD など編集委員会に提出する。
 - a. 本文は Word ファイル
 - b. 図は PDF, GIF, JPG, TIF いずれかで作成されたファイル
 - c. 表は Word または Excel ファイル

1.4 別刷等

1. 別刷は 50 部単位とし、実費+送料は著者負担とする。
2. 論説・報告・学会賞(技術賞)論文・解説・資料・資源情報の原稿の長さは、図・表など全てを含めて刷り上がり 12 頁以内とし、増加頁分費用著者負担による制限は原則として刷り上がり 18 頁までとする。
3. カラー印刷は実費著者負担とする。

1.5 著作権

論文に関する著作権は、著作者が著作権譲渡同意書(様式2)に必要な署名をすることにより、資源地質学会が有する。

2. 原稿

2.1 構成

1. A4 版縦型用紙に横幅 40 字縦 20 行で作成する。周辺に上下左右に 3cm 程度の余白を残し、原則としてワープロ出力とする。
2. 原稿の第 1 頁目には上段から表題、著者名、所属機関とその所在地を記す。その下に英訳を記す。キーワード(10 語以下)、省略化した表題、その他 1 頁めの脚注に載せるべき事項(例えば講演された原稿には、学会名・講演場所・年月日)はまとめて下段に記す。
3. 論説・報告・速報・学会賞(技術賞)論文には 500 語以内の欧文要旨(Abstract)を添える。Abstract は原稿の第 2 頁から始める。
4. 本文は第 3 頁から始める。本文は章一節一項一目に分けられ、見出し行間などは次の例にしたがう。
各章は左ずめで通し番号(1., 2., 3.)をつける。節および項は、それぞれ(1. 1, 1. 2, 1. 3, …)(1. 1. 1, 1. 1. 2, 1. 1. 3, …)のようにして細分する。
章の間は 2 行、節・項・目の間には 1 行スペースを設ける。
文章の書きだしは 1 文字あける。

2.2 本文の書き方 (既刊本誌をよく参照のこと)

1. 単位はメートル法とし、理科年表によるローマ字の記号を用いる。
2. イタリックで印刷する字句(化石名など)には、アンダーラインをつけるかイタリックで印刷する。
3. 注意事項
 - a. 文体は口語体・横書きとし、なるべく当用漢字・新かな使いを用いる。
 - b. 句読点・;:., は全角1字分とし、括弧〔(”は1/2字分とする。書出し、改行は1字あける。
 - c. 本文中の引用人名(文献としての引用の場合を除く)には敬称を略し、姓名を完記する。ただしローマ字書きの日本人名・外国人名の場合は、名は頭文字のみ、姓は完記とする。読みにくい固有名詞にはふりがなをつける。
 - d. 外国の固有名詞は原則として原綴りで表されるが、よく知られているものはカタカナ書きでもよい。
 - e. 本文中に外国語をはさむことはなるべくさけ、適当な訳語のない専門語は原綴りで表す。場合によってカタカナ書きとし()内に原綴りをつけてもよい。

2.3 図・表・写真

1. 図・表は白紙に黒インキまたは墨書きとする。印刷の時の縮小の度合(1/3以上)を考慮して、線の太さ、字の大きさに注意する(字の大きさは縮小後1mm以上)。図・表・写真の大きさは、原則として刷上り1頁以内とする。みひらき(2ページ分)は可能であるが折込みは認めない。提出する原図の大きさは原則としてA3版以下とする。
2. 地図にはかならず縮尺と方位を図示する(例えば1/1000縮尺など字書きはいけない)。地質図は、斜線・点線・破線・その他による模様別とする。判別可能な場合には記号によることもできる。
3. 表は高解像度のプリンターやプロッターを用いそのまま写真製版できる形式とする。文字のフォントサイズは12ポイント使用の場合、原稿の横幅は24cmあるいは12cm以下とする。
4. 写真(顕微鏡写真を含む)は必ず縮尺を図示する。
5. 原図・表・写真には、それぞれ番号(Table 1, Fig. 1のようにする)を欄外(A4紙右肩)に朱書する。本文中に組み込んで印刷される写真は線画と同様の図として取り扱い、他の図と一連の図番号をつける。図・表・写真を原稿本文中にとじ込んだり、糊付けしたりしない。
6. 図・表および写真の表題と説明は別の用紙に書き、投稿原稿の末尾にとじる。図・表中の文字および説明は原則として英文とする。
7. 小さな図・表・写真はA4大の白い厚手の台紙にはる。
8. 図・表・写真の挿入位置は本文の右欄外に朱書きで指定する。
9. 図・表・写真の説明文は英語とする。
10. 図は既存のソフトウェアを用いPICTあるいはEPS形式でフロッピーによる提出も可能である。ソフトウェア等の詳細については編集委員会に問い合わせる。

2.4 文献

1. 文中の引用文献は姓(発行年), または(姓, 発行年)とする. まぎらわしい場合は姓名を用いる. 共著者が2名のときは2名の姓を書き, 3名以上のときは「第一著者の姓ほか(発行年)」のように書く. ただし論文末尾の引用文献リストには共著者名を完記する.
2. 文献リストは著者名のアルファベット順, 同一著者の発表年順(同一年に複数ある場合は, 適宜 a,b,・・・をつける)とし, 本部末尾にまとめる.
3. 文献は著者名, 発行年, 表題, 雑誌名(出版社名), 巻, 頁の順に記入する. 編集出版物には編集者名を入れ, よく知られているものを除き出版機関名もつける.
4. 引用文献名は文中および図表で記載したものに限る.
5. 文献名は慣例にしたがった省略法を用いる.

American Journal of Science	→ Am. J. Sci.
The American Mineralogist	→ Am. Mineral.
Applied Geochemistry	→ Appl. Geochem.
The Canadian Mineralogist	→ Can. Mineral.
Chemical Geology	→ Chem. Geol.
Contribution to Mineralogy and Petrology	→ Contrib. Mineral. Petrol.
Clays and Clay Minerals	→ Clays Clay Mineral.
Earth and Planetary Science Letters	→ Earth Planet. Sci. Lett.
Economic Geology	→ Econ. Geol.
European Journal of Mineralogy	→ Eur. J. Mineral.
Geochemical Journal	→ Geochem. J.
Geochimica et Cosmochimica Acta	→ Geochim. Cosmochim. Acta
International Geology Review	→ Inter. Geol. Rev.
Journal of Geochemical Exploration	→ J. Geochem. Explo.
Journal of Petrology	→ J. Petrol.
Journal of Sedimentary Petrology	→ J. Sed. Petrol.
Journal of Geophysical Research	→ J. Geophys. Res.
Journal of Volcanology and Geothermal research	→ J. Volcan. Geotherm. Res.
Mineralogical Journal	→ Mineral. J.
Mineralogical Magazine	→ Mineral. Mag.
Mineralium Deposita	→ Mineral. Dep.
Ore Geology Review	→ Ore. Geol. Rev.
Resource Geology	→ Resource Geol.

地質学雑誌 → 地質雑
岩石鉱物鉱床学雑誌 → 岩鉱
地質調査所月報 → 地調月報

3. 資源地質特別号原稿

原則として前記の諸規定に従う。ただし図の大きさ、色刷りの制限や図版の使用などに関しては、場合により特別な考慮が払われることもある。

例)

(1頁)

海底2万マイルの資源
3行スペース

浦辺 徹郎*
2行スペース

Resource of twenty thousand miles under the sea.

Tetsuro URABE

1行スペース

(2頁)

Abstract: Resource geology has been contributed

(3頁)

1. □はじめに(項目順に番号をつける)

1行スペース

□わが国の金属鉱床は, ...(青木, 1997)

段落ごとに1文字あける (Fig. 1)

2. □地質

1行スペース

2. 1 □(細項目は斜体とする)

1行スペース

2. 2 □

1行スペース

参考文献

資源太郎 (2002): 小惑星帯の地質と資源. 乃木坂出版, 123p.

Lucas, J., Ford, H. and Spielberg, S (2010): The Resource Empire Strikes Back. Imperial Geol., 1, 11-15.

地質花子 (1999): 金属鉱床と地球温暖化. 未来世紀資源学(観世行夫 編.) 未来資源特別号, 2, 1-2.

4. 原稿の審査

4.1 編集委員長は、受け付けた投稿原稿の種類を決定する。原稿の種類が論説・報告または速報である場合、編集委員長は適任と思われる担当編集委員を選任し、査読に関する手続きを依頼する。担当編集委員は、複数の会員あるいは非会員に原稿の査読を依頼し、複数の査読者がいずれも掲載適当と認めた場合は採択とし、いずれかの査読者が掲載不適当と認めた場合は不採択とする。それ以外の種類の原稿の場合、編集委員長が掲載の可否を審査する。

4.2 担当編集者または編集委員長は、掲載適当と認めた原稿について著者に修正を求めることができる。

4.3 担当編集者または編集委員長は、査読または審査の結果に基づき掲載不適当と認めた原稿について、その理由を付して著者に通知する。

4.4 掲載不適当と認められた原稿の著者は、その理由が了解できないとき、編集委員会に再審査を申し出ることができる。このとき担当編集委員または編集委員長は、その経緯を明らかにして編集委員会に諮り、編集委員会はその責任で当該原稿の採否を審査決定する。

(2017年12月8日改定)

(様式1)

保証書

年 月 日

著作者(代表者)氏名

印

住所

原稿表題

著者名が代表する共著者すべての氏名

著作者(代表者)は、資源地質学会発行の「資源地質」に投稿した上記表題の原稿(著作物)について下記各事項を保証し、確約します。

1. 本著作物が著作者のオリジナルな著作物であり、すでにいずれかで出版公表されていたり、出版公表予定でないこと。
2. 本著作物が既存の出版公表物などに対する知的財産権へのいかなる侵害も含まぬこと。
3. 本著作物中に他から転載されている全ての図表について、転載許可を得ていること。
4. 本著作物中、他の論文等の引用がある場合には、当該引用が公正な慣行に合致し、目的上正当な範囲内であること。
5. 本著作物には、資源地質学会の名誉を傷つけ、「資源地質」の信用を毀損する盗用データ、捏造データ、本著作物に関する利害を持つ者の合意に反するもの、その他学会の会則に反するものを含まないこと。
6. 本著作物が共同著作物である場合には、代表して本保証書に署名捺印する者が、全ての共著者から、本保証書に署名捺印することについて同意ないし必要な権利を得ていること。
7. 本著作物についての問い合わせ、苦情、紛争などが発生した場合、署名者はすべての責任を負うこと。
8. 本著作物を作成するに当たって行われた調査・研究行為が、適切な方法でなされたものであること。

以上

(様式2)

著作権譲渡等同意書

著作者(代表者)氏名

住所

受理原稿表題

著作者は、資源地質学会発行の出版物「資源地質」に受理された上記表題の投稿原稿について、以下の各項目に同意します。

1. 投稿原稿のすべての著作財産権(著作権法第27条, 同28条に定める権利を含む)を資源地質学会へ譲渡すること。
2. 投稿原稿について、資源地質学会ならびに資源地質学会より正当に権利を取得した第三者に対し、著作人格権(公表権, 氏名表示権, 同一性保持権)を行使しないこと。
3. 上記1項と矛盾する契約を他の第三者と締結しないこと。
4. 上記1項に基づいて、本投稿原稿の下記の各利用形態に関する権利を資源地質学会が排他的に行使すること。
 - i. 複製, 翻訳, 翻案(出版, 電子出版, 翻訳出版, データベース化, ビデオ化その他すべての記録メディアへの記録・掲載などを含む)
 - ii. 展示・上映
 - iii. 放送, 有線放送, 自動公衆送信, その他の公衆送信(地上波, CATV, 放送衛星, 通信衛星, インターネット, パソコン通信, その他あらゆる送信媒体及び将来開発されるすべての送信媒体による公衆送信を含む)
 - iv. 頒布, 譲渡, 貸与
 - v. その他, 本著作物に関する一切の利用(技術進歩により将来生じうる利用形態を含む)

著作者(代表者) _____ 印

署名期日 年 月 日

(筆頭著者ないし責任著作者がすべての共著作者を代表して記入してください)

署名者が代表する共著作者全ての氏名

